

道産食品独自認証制度に関するアンケート調査票

- 1 認証マークを取得してからの認証商品の販売状況についてお伺いします。
 ※認証取得前の当該商品（新たな商品の場合は、御社の同様の形態の他の商品）の状況と比較してください。

(1) 認証の取得により販売面で何か変わったことがありましたか。

ア又はイから1つ選び、イを選んだ場合は、変わった内容についてa～gからいくつでも選んでください。

ア 何も変わらない。

イ 変わった。

(変わった内容)

- a 販売量、販売金額が増加した
- b 取引先が拡大した
- c 商品に対する問い合わせが多くなった
- d 商品価値や信頼度が高くなった
- e 商品提案がしやすくなった
- f 認証品以外の商品も売れるようになった
- g その他 ()

※「(1) でイ変わった」と回答された場合、以下の(2)～(4)の項目にご回答をお願いします。

(2) 認証取得前と比べ、年間を通して、販売量、販売額が何%くらい増え(減り)ましたか。

ア～ウから1つ選び、ア又はウを選んだ場合は、その程度についてa～cから1つ選んでください。また、その場合、差し支えなければおおよその割合を()に記載してください。

- | | | | | |
|-------------|---|----------|----------|------|
| ア 増加した | a | 2倍(100%) | 超増加() | %程度) |
| | b | 50～100% | 増加() | %程度) |
| | c | 0～50% | 増加() | %程度) |
| イ ほとんど変わらない | | | | |
| ウ 減少した | a | 0～20% | 減少() | %程度) |
| | b | 20～50% | 減少() | %程度) |
| | c | 半分(50%) | 以下に減少() | %程度) |

(3) 認証商品の販売店は増え（減り）しましたか。

ア～ウから1つ選び、ア又はウを選んだ場合は、販売方法（直売店・スーパー・デパートなど）も含めて具体的な状況を記載してください。

ア 増えた（ ）

イ 変わらない

ウ 減った（ ）

例：・直売店の販売のみから、スーパーでの取扱店が3店舗できた。

・デパートのみ2店舗での販売だったが、デパートが3店舗、スーパーが2店舗に増えた。

(4) 販売期間（直売店）、出荷期間（スーパー等）が変わりましたか。

ア～ウから1つ選び、ア又はウを選んだ場合は、その理由や具体的な状況を記載してください。

ア 期間が長くなった（ ）

イ 変わらない

ウ 期間が短くなった（ ）

2 制度活用の費用対効果について、どのようにお考えですか。

ア～ウから1つ選び、できればその内容を記載してください。

※この場合の費用とは、機械施設の設備投資や手数料など認証を取得するために新たに生じた費用のことを言います。

ア 費用に見合う効果が得られている。

（ ）

イ 費用に見合う効果は現れていない。

（ ）

ウ その他

（ ）

3 認証商品を製造・販売するに当たって苦勞されている点はどんなことですか。

ア～キから該当するものをいくつでも選んでください。

ア 特にない

イ 道産原料の安定的な確保（原料名： ）

ウ 商品の高いレベルの品質の保持

エ 原材料の価格上昇や認証取得費用などコスト負担への対応

オ 保健所のHACCP評価の取得

カ 認証商品であることを生かした販売促進

キ その他（ ）

4 認証商品の効果的なPRや情報交換に向け、認証事業者の組織化等を進めることについて、どうお考えですか。

ア～ウから1つ選び、ア又はイを選んだ場合は、お考えに最も近い理由をa～dから1つ選んでください。

ア 必要である

(理由)

a 認証事業者が共同で認証商品のPRや販売を行うことが効果的と考えるから

b 認証事業者間の情報交換や研修を進めることで商品のレベルアップや販路拡大につながると考えるから

c 認証基準の改正や制度の今後の方向について認証事業者の組織として提言したいから

d その他 ()

イ 必要でない

(理由)

a 認証商品のレベルアップやPR、販路拡大などにつながる取組は難しいと考えるから

b 何らかのメリットはあると思うが、活動に必要な経費や労力の負担が難しいから

c 組織化よりも認証事業者同士や流通事業者との懇談・交流の場を設ける方がよいと考えるから

d その他 ()

ウ どちらとも言えない

5 認証マーク（きらりっぷ）についてお伺いします。

(1) マークのデザインについてどうお考えですか。

ア～ウから1つ選び、イを選んだ場合は、その理由をa～cからいくつでも選んでください。

ア 現在のマークを引き続き使用すべき

イ 変更すべき

(理由)

a マークの意味がわかりづらいから

b 当社の商品にマークのデザインがマッチしていないから

c その他 ()

ウ その他 ()

(2) マークの使用基準についてどうお考えですか。

ア～エから1つ選び、イ又はウを選んだ場合は、その理由を記載してください。

ア 現在の基準と同様、認証商品にマークを必ず貼付すべき

イ マークの貼付は認証事業者の任意とすべき

(理由:)

ウ マークの貼付ではなく「北海道認証食品」など認証を受けていることを文字で表現する方法とすべき

(理由:)

エ その他 ()

6 認証基準は現在、21品目(発酵、熟成、独特の製造技術などこだわりを持った基準を制定。)で設定していますが、新たな認証基準品目についてご意見、ご要望がありましたら、記載してください。

[]

7 御社において、認証制度をどのように活用していますか。

ア～カから該当するものをいくつでも選んでください。

ア 商品の販売促進に向けパンフレットやホームページなどを通じ認証品であることをPRしている。

イ 自社のPR、イメージアップのため、営業活動などにおいて認証を取得していることを説明している。

ウ 他社の認証事業者と共同で認証商品の特別販売を行っている。

エ 従業員の製造工程等の管理意識の啓発に役立てている。

オ 制度が十分浸透していないので、活用できていない。

カ その他 ()

8 今後、御社において認証商品数はどのようにお考えですか。差し支えなければ、その理由も記載してください。

ア できれば増やしたい (理由:)

イ 現状を維持したい (理由:)

ウ 減らす(又はなくする)見通しである (理由:)

- 9 本制度については、認証数が現在70品程度と伸び悩んでおり、また、制度自体の認知度も上がらないなどの課題がありますが、これらへの対応についてご意見がありましたら、記載してください。

[]

- 10 認証機関に対するご意見、ご要望等がありましたら記載してください。
(認証機関の対応、更新手続や更新時期など)

[]

- 11 その他、道産食品独自認証制度全般について、ご意見、ご要望等がありましたら記載してください。

[]

アンケートに御協力ありがとうございました。

北海道農政部食の安全推進局食品政策課食品安全グループ
TEL 011-231-4111 (内線27-671)
FAX 011-232-7334